

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	住宅・住生活
基本方針	“まちなか”の魅力向上

施策番号	15-01-①
施策名	市街地の整備

施策の概要

“うるおい”ある市街地の整備と低未利用地等の活用、公共公益機能、都市福利機能、商業機能等のよりいっそうの集積を進めて、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	(※基準値)	31.0	32.0	33.0	34.0
実績値	30.4	34.7	—	—	—

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合は、前年度より4.3ポイント増加した。草津川跡地公園de愛ひろばやクサツコリバのオープンに対する市民の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

草津市中心市街地活性化基本計画に基づき、平成29年度に供用開始した草津川跡地公園de愛ひろばやniwa+(ニワタス)といった中心市街地の公共空間を活用した賑わい創出事業を実施し、回遊性の向上を図った。中心市街地の歩行者通行量が増加傾向にあることや、空き店舗率が減少傾向にあることから、一定の成果があるものと評価する。

評価に基づいた平成31年度の取組みについての考え方

さらなるまちなかの魅力向上を目指して、北中西・栄町地区市街地再開発事業や(仮称)市民総合交流センター整備事業等の活性化拠点整備事業を進めるとともに、整備後に各拠点施設が有効に機能するように拠点間を結ぶソフト事業を展開できるように、地域関係者をはじめ、商工会議所、草津まちづくり株式会社、行政が一体となった取組を検討していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市街地街づくり推進事業	都市再生課	○	北中西・栄町地区市街地再開発事業の供用開始に向けて、工事着工した。
中心市街地活性化推進事業(土木費)	都市再生課	○	中心市街地における歩行者通行量の増加や空き店舗率の減少に一定の効果があった。
(仮称)市民総合交流センター整備事業	都市再生課	○	施設整備に向けて、整備を行う民間事業者を募集し、優先交渉権者を決定した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事業	都市再生課
都市計画推進事務	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	住宅・住生活
基本方針	住まいと住生活の魅力向上

施策番号	15-02-①
施策名	良質な住宅資産の形成

施策の概要
 秩序ある住宅開発の誘導や諸制度を活用した快適な住生活づくり等、市民・民間事業者と連携のもとで市域の住宅資産の質の向上を図ります。

成果指標(単位)	住まいと住生活に満足している市民の割合(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	(※基準値)	18.0	19.0	20.0	21.0
実績値	16.4	14.9	—	—	—

成果指標実績に対するコメント
 市民意識調査の結果、住まいと住生活に満足している市民の割合は、前年度より1.5ポイント減少したが、「普通」と回答した市民を加えた割合を比較すると、前年度73.5%に対し73.4%とほぼ同様の結果となっている。今後、全体の過半を占める「普通」と感じている市民の満足度向上が課題であり、良質な住宅への改修等を促進するなど、今後も「質」を高める施策を推進する必要がある

施策の達成度評価
 新たな住宅ストックの形成が進んでいるものの、長期優良住宅など質の高い住宅の確保は未だ十分とはいえず、今後とも市民等への普及啓発が必要である。また、老朽化した住宅や耐震基準を満たさない住宅、空き家等について、解体や補強、有効活用を進める必要がある。

評価に基づいた平成31年度の取組みについての考え方
 住宅・住環境の「量」から「質」への転換に向け、耐久・耐震・省エネ性などに優れた長期優良住宅等の普及を促進する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築課	○	建築確認申請に適正に対応するなど、特定行政庁としての事務を遂行した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	住宅課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
分野	住宅・住生活
基本方針	住まいと住生活の魅力向上

施策番号	15-02-②
施策名	空き家等の対策の推進

施策の概要

空き家の適切な管理によって市民の生命・身体・財産を保護し、また、防災・衛生・景観等の市民の生活環境を保全するとともに、空き家等をまちづくりの資源と捉えて、その有効活用を図ります。

成果指標(単位)	草津市空き家情報バンクの登録件数(件)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	1	2	—	—	—

成果指標実績に対するコメント

草津市空き家情報バンクの登録件数は、前年度比1件増加したが、目標値には到達しなかった。広報や市各種行事での啓発活動や、適正管理時の登録案内が、登録件数の増につながったものと考えられる。一方で、登録件数が伸びないことは、本市における空き家物件が不動産市場において活発に流通していることによるものと考えられる。

施策の達成度評価

草津市空き家等対策計画に基づき、戸建空家等の発生抑制・適正管理促進についての啓発活動に、積極的に取り組んだ。また、空き家所有者・管理者の意識づけへつなげる新たな取り組みとして、住宅の相続セミナーを開催した。バンク登録については、市場流通にのらない物件の掘り起こしが課題と考えていることから、より一層の啓発に取り組む。

評価に基づいた平成31年度の取組みについての考え方

草津市空き家等対策計画に基づき、引続き戸建住宅等の発生の抑制および適正管理促進を進めるため、広報や市各種行事での啓発活動、所有者・管理者向けセミナー開催の取組を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

市内においては、売買・賃貸共に市場における需要が高いため、空き家物件が市場流通として流通しやすい環境下にある。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
空き家対策事業	建築課	○	空き家情報バンクの登録物件が、成約に結びつき、有効活用につながった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	15-02-③	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	住宅・住生活
		基本方針	住まいと住生活の魅力向上
施策名	土地利用の適切な誘導		

施策の概要
都市機能の再構築と密集市街地の改善など市街地の整備を進めるとともに、土地の高度利用を含め、適切な土地利用の誘導を図ります。

成果指標(単位)	住まいと住生活の魅力が向上したと思う市民の割合(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	(※基準値)	18	19	20	21
実績値	16.4	14.9	—	—	—

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「住まいと住生活の魅力が向上したと思う市民の割合」は、前年度より1.5ポイント減少した。引き続き、届出等の手続きを適正に進め、適切な土地利用の誘導を図っていく。

施策の達成度評価
将来の人口減少局面に適応できる、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの実現に向けて、草津市立地適正化計画の策定に取り組んだ。草津市版地域再生計画、草津市地域公共交通網形成計画と連携しながら策定作業を進めた。

評価に基づいた平成31年度 of 取組みについての考え方
草津市立地適正化計画による、居住および都市機能の誘導を図り、将来の人口減少局面においても持続可能なまちづくりを進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うが、平成29年度の届出は、18件で、このすべては、適正に届出されており、県が行う勧告、助言の事例はなく、経由事務を行えた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、平成29年度においては94件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
土地区画整理事業	都市再生課
特定旅館建築規制事務	建築課
地籍調査事業	土木管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	15-02-④	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	住宅・住生活
		基本方針	住まいと住生活の魅力向上
施策名	地域特性を活かした郊外部の整備		

施策の概要
 郊外部における地域の産業・資源を活かして、新たな交流の創出や生活機能の確保等、さらなる活性化を図ります。

成果指標(単位)	住まいと住生活の魅力向上に満足している人の割合(%) (志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	13.9	16.0	17.0	18.0	19.0
実績値	13.9	16.1	—	—	—

成果指標実績に対するコメント
 市民意識調査の結果、「住まいと住生活の魅力向上に満足している人の割合」は、前年度より2.2ポイント増加した。さらなる向上を図るため、地域とともに地域の将来像の実現に向けて取組を進めていく。

施策の達成度評価
 郊外地域における生活環境やコミュニティを維持していくため、「草津市版地域再生計画」の策定に取り組んだ。

評価に基づいた平成31年度取組みについての考え方
 草津市版地域再生計画の策定後においても、地域の実状に応じた取組について、関係部局と連携しながら、地域とともに検討していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
都市計画推進事業	都市計画課	○	平成30年度の「草津市版地域再生計画」の公表に向けて、策定作業や地元調整を着実に進めることができました。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定構想検討事業	企画調整課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。